別紙

令和８年度校区まちづくり交付金　交付決定助言書
【高安西小学校区まちづくり協議会】

〔交付決定にかかる条件〕

※下記に記載の〔交付決定にかかる条件〕については、年度内の活動の中で実践や実施に向けた検討を進めてください。その実績や検討状況については、実績報告書に記載いただき、ご報告ください。

〇チャレンジメニュー①：1-①「自助」の取り組みの定着・促進

・防災訓練の日以外にも「自助」の啓発を行うというのは素晴らしい取り組みだと思います。取り組みの実施にあたっては、防災訓練のプログラムとの連動や関係性を図る手法についてご検討ください。

・防災グッズの紹介による自助の啓発について、携帯トイレやその場で実際に体験できるグッズ等の体験を組み込むなど、より効果的な取り組みとする手法についてご検討ください。

以下の「あそび防災プロジェクト」についてもご参照ください。

https://asobi-bosai.com/

〇チャレンジメニュー②：1-②子どもの参画

・防災学習の提供の場づくりにおいては、企画段階から子どもも一緒に考える場を作ることが重要です。企画段階から、子どもの参画を促す手法についてもご検討ください。

〇チャレンジメニュー③：2-①対話の場づくり

・過去も含め、この取り組みを通じて得られた参加者の意見や、それらがまち協活動にどのように活かされてきたのかについて、校区内で広く共有する手法についてご検討ください。

〇チャレンジメニュー⑧：1-③地域ぐるみの登下校の見守り

・校区内をウォーキングや犬の散歩をしている方などの協力を得ることで、より効果的な見守り活動につなげる手法についてご検討ください。以下の「ながら防犯」についてもご参照ください。

https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/bouhan/bouhan/nagara_bohan.html

・見守り活動に参加される担い手について、人数等の具体的な目標数を設定することについてご検討ください。

〇取り組み①：防犯パトロール事業

・街頭犯罪の昨年度比較を行い、検証する手法についてご検討ください。

〇取り組み④：納涼祭

・各地域団体間の交流については、それぞれの出店等とあわせて、交流が深まるような工夫や効

果検証の実施についてご検討ください。

〇取り組み⑤：敬老記念事業

・非常に興味深い取り組みですので、案内図による避難経路が高齢者にとって分かりやすく安全なものになっているのか、アンケートやヒアリングによる高齢者視点でのチェックの実施についてご検討ください。

〔今後の活動にかかる助言〕

※下記に記載の〔今後の活動にかかる助言〕については、まち協活動でご活用ください。こちらの項目については、実績報告の際の実施状況等のご報告は不要です。

〇取り組み⑤：設置済み AED 維持事業

・AED 設置場所については、機会があるたびに繰り返し案内することが重要です。SNS でも校区の地図に落とし込むなどして、定期的に発信する手法についてご検討ください。

〇全体を通して

・過去の助言の各内容を、着実に改革・改善しているように感じました。すでにお気づきの通りですが、まち協の持続可能性を考えることが肝要です。今回の提案・申請された関連内容をさらにブラッシュアップすべく、以下の「地域運営組織の持続的な運営に向けた取組事例集」なども参考にしてみてください。
https://www.soumu.go.jp/main_content/000939008.pdf

・チャレンジメニュー、積立事業と、工夫を凝らして経費を捻出している様子が窺えます。ここから一歩前進して、助成金に頼らず受益者負担（有料）イベントも検討されると、より地域がパワーアップするように思います。

・まち協の担い手が現役世代で時間が限られるというお話が昨年度出ていましたが、申請が多岐になると情報共有が難しいように思います。特に担い手に関する取り組みも多いので、事業の全体構造がわかるチャートを作成してみてはいかがでしょうか。作成するプロセスにおいてメンバー間で課題を共有できるとともに、事業の効率化を図ることもできると思います。